



## 地域支援者データヘルス研修会

～事例紹介（通知対象、ハイリスク指導対象者～

### 令和5年度 大分県データヘルス推進事業 （服薬適正化に向けた支援体制整備事業）

### 服薬通知の概要と要件について

# ポリファーマシーとは

## 有害事象例 本当にあった症状

### ADL（日常生活動作）の低下

- ◆ アムロジン（降圧剤）・・・歯肉肥厚による歯周病・血管拡張による頻尿・頭痛
- ◆ 骨粗しょう症薬・・・インフルエンザ様症状
- ◆ 高脂血症剤・・・横紋筋融解症
- ◆ ステロイド・・・白内障
- ◆ 経口避妊薬・・・血栓症・乳がん
- ◆ 精神安定剤・・・認知症誘発・てんかん誘発
- ◆ 消化酵素剤・・・掻痒性発赤蕁麻疹

e.t.c

#### 発現時期

・長年の蓄積によって出現するものもある。

#### 疑わない

・処方医でない場合、医師が有害事象と思わない。

#### 相互作用

・複数の薬剤で初めて発現することがある

#### 情報不足

・薬剤師に処方意図である傷病名情報が欠けている。

#### 服薬中止

・原因薬剤の中止をしないと有害事象かわからない

くい止める

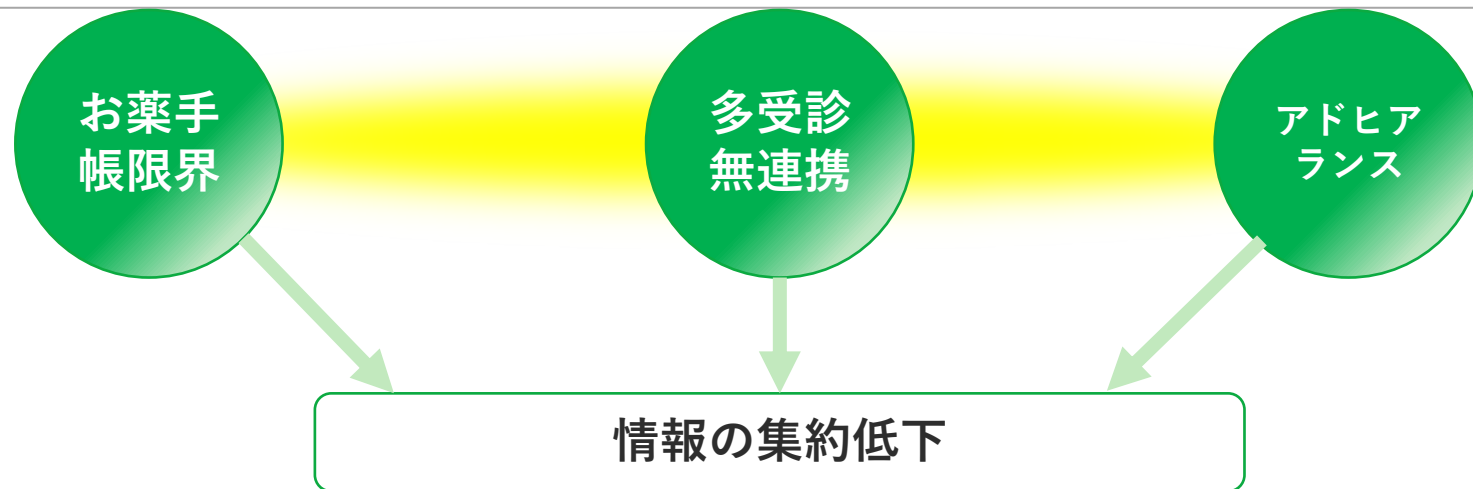
有害事象と気づかず他疾患と勘違いし薬が増える！

# ポリファーマシーの背景

## ポリファーマシーが起きる原因

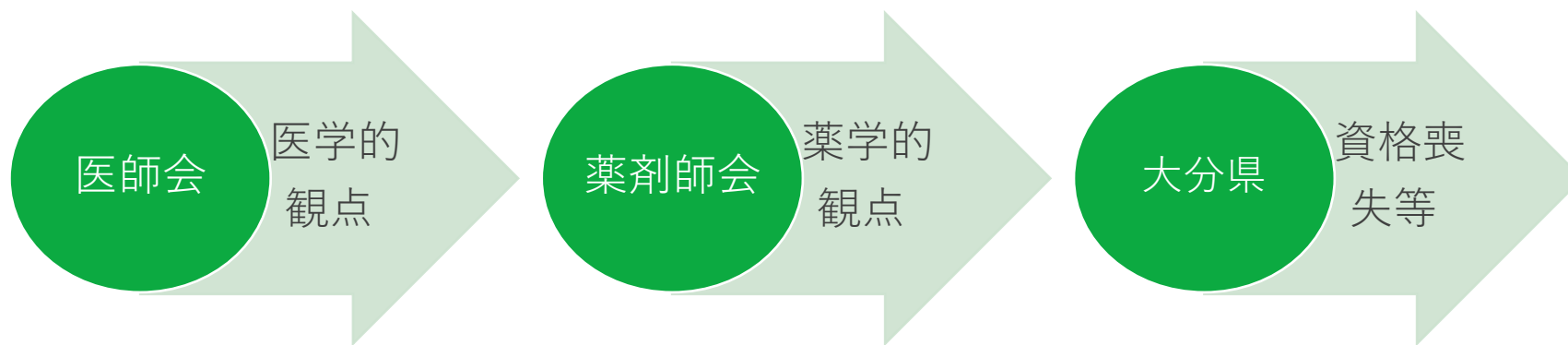
- ① お薬手帳の限界（持参忘れ・電子お薬手帳の分化・院内処方への未把握）
- ② 医師の専門特化による多受診・多科診療（横の無連携）
- ③ 患者が医者に対してものが言えない（アドヒアランスの低下）

※アドヒアランスとは、治療や服薬に対して患者が積極的に関わり、その決定に沿った治療を受けること。一般的に、服薬遵守のことを表す語として用いられている。



**治療全体の把握が必要である**

# 本事業通知対象者



団体名	除外条件
①大分県医師会	ビグアライド系薬剤の傷病名禁忌
②大分県薬剤師会	筋骨格系貼付剤 同種同効
③大分県	通知不適合者
④各モデル市様	施設入居の方は自治体様へ直接郵送
⑤効果的な事業実施1	同一病院の傷病名禁忌 同一成分同種同効の重複無
⑥効果的な事業実施2	長期処方のみ該当

# 重複（同一成分・同種同効）

同時期に複数の医療機関から同じ薬が投与される。（同種同効能）

## 同種同効の対象とする薬剤(厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用ガイドライン参照」)

No	指定内容	ATCコード	ATC名	指定方法	備考
1	抗アレルギー剤（抗ヒスタミン）	R06	全身性抗ヒスタミン薬	ATC中分類	
2	抗アレルギー剤（ロイコトリエン）	R03J2	喘息用抗ロイコトリエン薬：全身性	ATC細分類	
3	骨粗しょう症（ビスホスホネート系）	M05B3	骨粗鬆症および関連疾患用ビスホスホネート	ATC細分類	
4	胃潰瘍（H2ブロッカー）	A02B1	H2受容体拮抗薬	ATC細分類	※2つのATCの組合せの場合、同種同効として取り扱う
5	胃潰瘍（PPI）	A02B2	プロトンポンプ阻害薬	ATC細分類	
6	胃潰瘍（粘膜保護系）	A02B9	他のすべての潰瘍治療薬	ATC細分類	
7	降圧剤（ACE）	C09	レニン・アンジオテンシン系作用薬	ATC中分類	
8	降圧剤（その他α、レセルピン）	C02A	降圧薬単味剤（生薬起源ではない）	ATC小分類	
9	降圧剤（その他β）	C07	ベータ遮断薬	ATC中分類	
10	降圧剤（Ca拮抗）	C08	カルシウム拮抗薬	ATC中分類	
11	降圧剤（利尿剤）	C03	利尿薬	ATC中分類	
12	睡眠鎮痛	N05B1	非バルピツール酸系単味剤	ATC細分類	※2つのATCの組合せの場合、同種同効として取り扱う
13	抗不安(マイナートランキライザー)	N05C	抗不安薬（マイナートランキライザー）	ATC小分類	
14	抗うつ	N06A	抗うつ薬および気分安定薬	ATC小分類	
15	脂質異常（HMG-CoA還元剤）	C10A1	スタチン（HMG-CoA還元酵素阻害薬）	ATC細分類	
16	抗凝血薬（血小板凝集抑制）	B01	抗血栓薬	ATC中分類	
17	緩下剤と制酸剤	A02A1	制酸薬単味剤	ATC細分類	
18	美容目的のヒルドイド	C05B	局所用静脈瘤治療薬	ATC小分類	
19	ビタミンA	A11C	ビタミンAとDの配合剤を含むビタミンAおよびD	ATC小分類	
20	ビタミンB12	A11F	ビタミンB12単味剤	ATC小分類	
21	ビタミンB1	A11D	ビタミンB1の単味剤および配合剤	ATC小分類	
22	ビタミンB複合体	A11E	ビタミンB複合体	ATC小分類	
23	ビタミンC	A11G	ミネラル配合剤を含むビタミンC	ATC小分類	
24	筋骨格系消炎鎮痛貼付剤	M02A	筋骨格系用薬	ATC大分類	剤形中分類：貼付剤

Point



confidential

薬理作用が同じで処方元が異なる場合の重複は問合せが必要  
→左記の分類は臨床で必ず問い合わせの必要なものとなります。

# 重複（同一成分・同種同効）

同時期に複数の医療機関から同じ薬が投与される。（同種同効能）

ブリッジID	診療月	年齢	性別	医薬品名	処方量	処方日数	施設名	薬局名	相手医薬品名	相手				
										相手処方量	相手処方日数	相手施設名	相手薬局名	相手ATC小分類名
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	1	28	T病院	①薬局	ハルシオン0.25mg錠	1	30	O病院	⑧薬局	催眠鎮静薬
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	2	30	T医院	②薬局	ハルシオン0.25mg錠	1	28	T病院	①薬局	催眠鎮静薬
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	2	30	T医院	②薬局	ハルシオン0.25mg錠	1	30	O病院	⑧薬局	催眠鎮静薬
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	2	30	T医院	②薬局	ハルシオン0.25mg錠	2	28	W医院	③薬局	催眠鎮静薬
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	2	28	W医院	③薬局	ハルシオン0.25mg錠	1	28	T病院	①薬局	催眠鎮静薬
236137219	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	2	28	W医院	③薬局	ハルシオン0.25mg錠	1	30	O病院	⑧薬局	催眠鎮静薬
236151737	202303	72	女性	デパス錠0.5mg	4	60	Sクリニック	④薬局	デパス錠0.5mg	3	60	S病院	⑤薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236151737	202303	72	女性	デパス錠0.5mg	3	60	S病院	⑤薬局	エチゾラム錠0.5mg「トーワ」	0.5	30	宗像医院	⑦薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236151737	202303	72	女性	デパス錠0.5mg	4	60	Sクリニック	④薬局	エチゾラム錠0.5mg「トーワ」	0.5	30	宗像医院	⑦薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236151737	202303	72	女性	ベンザリン錠2	1	40	Sクリニック	④薬局	ベンザリン錠2	1	50	S病院	⑤薬局	催眠鎮静薬
236160257	202303	60	女性	アモバン錠7.5	1	28	F医院	⑥薬局	ゾピクロン錠10mg「サワイ」	1	30	T病院	院内⑨薬局	催眠鎮静薬
236160257	202303	60	女性	コンスタン0.4mg錠	1	28	F医院	⑥薬局	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	1	30	宗像医院	⑩薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236160257	202303	60	女性	コンスタン0.4mg錠	1	28	F医院	⑥薬局	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	1	30	M医院	⑪薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236160257	202303	60	女性	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	1	30	M医院	⑦薬局	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	1	30	M医院	⑪薬局	抗不安薬（マイナートランクライザー）
236160257	202303	60	女性	フェブキソスタット錠10mg「DSI」	1	30	M医院	⑦薬局	フェブキソスタット錠10mg「DSE」	1	28	F医院	⑥薬局	抗痛風製剤

同じ症状や疾患は一つの医療機関で  
診ていただくよう指導  
アンコントロールの原因

Point



# 傷病名禁忌薬剤

その傷病がある人に対しては利用してはいけない薬剤が投与されている。

## 薬学的観点からのゲートキーパーとなる薬剤師の役割

処方医が臨床上、薬を減薬または削除する理由の第一候補「禁忌」

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 透析患者を含む高度の腎障害(クレアチニンクリアランス 30mL/min未満)のある患者  
[本剤は主に腎臓を介して排泄されるため、血中濃度が上昇し出血の危険性が増大するおそれがある。「用法・用量に関連する使用上の注意」、「慎重投与」、「重要な基本的注意」、「薬物動態」の項参照]
- (3) 出血症状のある患者、出血性素因のある患者及び止血障害のある患者  
[出血を助長するおそれがある。「慎重投与」、「重要な基本的注意」の項参照]
- (4) 臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変(6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む)の患者
- (5) 脊椎・硬膜外カテーテルを留置している患者及び抜去後1時間以内の患者

保険薬局の薬剤師さんはこれまで、処方箋や「お薬手帳」などの限られた情報しか与えられず、病名や体調を患者さんから聞き出すしかなかったのです。しかも、全ての患者さんが必要な情報を話してくれるとは限らない。

禁忌や過量投与、副作用のリスクを判断して、疑義照会を実施できるような環境ではありませんでした。

薬対薬以外にも禁忌はある！

# 傷病名禁忌薬剤

その傷病がある人に対しては利用してはいけない薬剤が投与されている。

JMDCブリッジID	処方			医薬品名	処方量	処方日数	処方施設名	禁忌名	傷病名	傷病施設名	同一医療
	診療年月	時年	性別								機関フラグ
1	202303	74	女性	クエチアピン錠 2.5 mg 「明治」	1	30	T病院	糖尿病	2型糖尿病	M医院	0
2	202303	70	男性	クエチアピン錠 100 mg 「明治」	4	30	M病院	糖尿病	2型糖尿病	K病院	0
3	202303	66	男性	沈降炭酸カルシウム錠 500 mg 「三和」	4	28	B病院	甲状腺機能低下症	術後甲状腺機能低下症	N病院	0
4	202303	73	男性	オランザピンOD錠 1.25 mg 「アメル」	2	28	Yクリニック	糖尿病	糖尿病	Gクリニック	0
5	202303	73	男性	オランザピンOD錠 1.25 mg 「アメル」	2	28	Yクリニック	糖尿病	糖尿病	Aクリニック	0
6	202303	74	男性	ポララミン錠 2 mg	1	44	S皮膚科	前立腺肥大	前立腺肥大症	M医院	0
7	202303	74	男性	ゼスラン錠 3 mg	2	44	S皮膚科	前立腺肥大	前立腺肥大症	M医院	0
8	202303	72	男性	クレマスチン錠 1 mg 「YD」	0.5	14	N皮膚科	前立腺肥大	前立腺肥大症	G泌尿器科	0
9	202303	65	男性	エンペラシン配合錠	1	14	T皮膚科	前立腺肥大	前立腺肥大症	Kクリニック	0
10	202303	71	女性	ロスバスタチンOD錠 5 mg 「DSEP」	1	30	M医院	肝臓	肝細胞癌	N病院	0
11	202303	73	男性	ロスゼット配合錠 LD	1	35	O病院	肝臓	肝細胞癌	O病院	0
12	202303	73	女性	ロスバスタチン錠 2.5 mg 「DSEP」	1	77	S病院	肝臓	肝細胞癌	O病院	0
13	202303	72	男性	ロスバスタチン錠 2.5 mg 「DSEP」	1	53	O医療センター	肝臓	肝細胞癌	O病院	0
14	202303	72	男性	ロスバスタチン錠 2.5 mg 「DSEP」	1	53	O医療センター	肝臓	肝細胞癌	S医療センター	0
15	202303	73	男性	ロスゼット配合錠 LD	1	35	O病院	肝臓	アルコール性肝硬変	O委員	0

傷病名に対しての禁忌で医療機関がまたがる場合、処方元の医療機関へ  
禁忌薬処方問い合わせが必要 副作用確認！

Point





# 併用禁忌薬剤

飲み合わせの悪い薬で併用により悪影響を招く可能性がある薬剤。

診療月	年齢	性別	医薬品名	処方量	処方日数	施設名	薬局名	相手医薬品名	相手処方日数	相手施設名	相手薬局名
202303	45	男性	ベルソムラ錠 1.5 mg	1	35	T病院	Y薬局	クラリスロマイシン錠 200 mg	1	14	Y耳鼻科 W薬局

薬どうしの禁忌で医療機関が  
またがる場合は特に、禁忌薬の処方元へ  
問い合わせが必要 副作用確認！

同一医療機関の場合は、処方医が併用する場合も  
あるが禁忌薬であることの認識があるか確認が必要

Point



# 長期処方※漫然投与

過去6か月間の累計処方日数が120日以上 漫然投与してはいけない薬剤 (厚生労働省「高齢者の医薬品適正ガイドライン」参照)

診療月	年齢	性別	医薬品名	施設名	薬局名	処方量	累計処方日数(6か月間)	累計処方超過割合	
1	202303	55	男性	ハルシオン0.25mg錠	T病院	F薬局	2	526	292%
2	202303	59	男性	デパス錠0.5mg	M医院	Y薬局	3	376	208%
3	202303	54	女性	デパス錠0.5mg	M医院	Y薬局	3	362	201%
4	202303	53	男性	レキソタン錠2	T病院	T病院	2	360	200%
5	202303	60	女性	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	M病院	T薬局	1	360	200%
6	202303	49	女性	センノシド錠12mg「トーワ」	U病院	U病院	2	336	186%
7	202303	18	女性	マグミット錠330mg	Y病院	Y病院	2	330	183%
8	202303	69	男性	ファモチジンD錠10mg「サワイ」	Uクリニック	W薬局△店	2	307	170%
9	202303	71	男性	デエビゴ錠2.5mg	Sクリニック	Y調剤薬局	1	303	168%
10	202303	54	女性	マイスリー錠10mg	S病院	W薬局○店	1	264	146%

長く服用すると耐性、依存、副作用が強く出る可能性がある薬

そして、必要以上に過量処方も見受けられる  
残薬の確認！頓服、減量、削除など適正化検討

Point



ポリファーマシー改善

問いかけ

- ①お薬はちゃんと飲めていますか？
- ②やめてみたい薬はありますか？
- ③飲むと具合が悪くなる薬はありますか？
- ④毎日飲まない薬はありますか？
- ⑤薬を減らしたいと思いませんか？
- ⑥薬は自然治癒力のサポート

薬剤区分け

主疾患の治療薬か？  
対症療法薬か？  
生活改善で中止できるか？  
用量があっているか？  
副作用は出ていないか？  
依存・耐性はでていないか？

減量・頓服  
切り替え

漢方への切り替え  
定期処方→頓服  
生活改善指導→病気の原因を除去  
減量中止の検討  
→mgの漸減 ゆっくり切り替え

変化の  
確認

症状緩和（悪化）の確認  
副作用の消失  
主疾患の悪化の確認  
コンプライアンスの改善確認

ポリファーマシーの改善に向けて、ゆっくり整理・薬に頼らない生活の見直し

# 適正化 服薬整理 やめ方

## 服用薬剤調整支援加算1・2

	内容	点数	
1	6種類以上の内服薬が処方されている患者について、処方医に対して文書を用いて提案し、調剤する内服薬が2種類以上減少した場合に算定する。(月1回に限り)	125点	
2	複数の保険医療機関から6種類以上の内服薬が処方されている患者について、重複投薬等が確認された場合に、処方医に対して提案を文書を用いて行った場合に算定する。(患者ごとに3月に1回まで、服薬情報等提供料は併算定不可)	イ 施設基準を満たす薬局が行った場合 (届出不要)	110点
		ロ イ以外の場合	90点

### 【主な要件】

「1」  
文書で減薬を提案し、**2種類以上減少した状態が4週間以上継続**

「2」  
**文書で減薬を提案**

### 【対象患者】

「1」  
**4週間以上継続して6種類以上の内服薬(※)を処方されている患者**

「2」  
**複数の医療機関から6種類以上の内服薬(※)を処方されている患者**

### 【共通の要件】

1銘柄1種類として計算する

A錠  
B錠  
Cカプセル  
D散  
E顆粒  
F内服液

6種類

**屯服薬は含まれない**

【2018/3/30疑義解釈その1】  
浸煎薬、湯薬は含まれない

患者の意向を確認

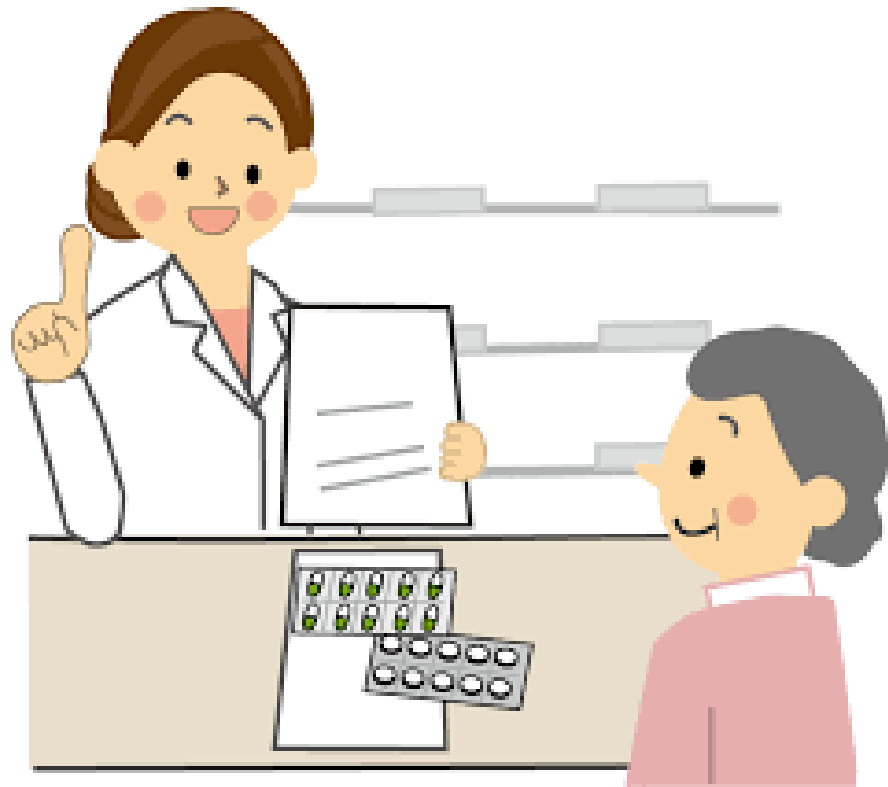
お薬を減らせませんか?

薬歴等に文書を添付



## 適正化 服薬整理 やめ方

薬学的根拠という判断材料が加わることで、処方変更しやすい環境がうまれる  
疑義照会の必要な症例に対してのみ抽出し、診察にお忙しい先生に代わって分かりやすい情報を提供  
地域医療で支えていくことで、患者様の背景を含んだ処方変更提案（薬剤師からのご報告処方変更ご提案）



- ・ 処方の適正化を考えるにあたり、患者が受診している診療科・医療機関を全て把握するとともに患者の罹病疾患や老年症候群などの併存症、ADL、生活環境、さらに**全ての使用薬剤の情報を十分に把握することが必要**であり、CGA（高齢者総合評価 Comprehensive Geriatric Assessment）を行うことが推奨される。→介護予防

- ・ 薬剤師を介すことで、患者から聞き取った服薬背景や生活状況、処方内容などに薬学的な観点を加え、**薬を減らすことのメリットとデメリットを総合的に判断**し、医師に打診しています。

- ・ **PPIとH2ブロッカーの重複**も抽出。

- ・ 医療費の適正化で効率的で安心・安全な**医療制度の継続**

通知による医療費の適正化のみではなく、通知の発送をきっかけにした、被保険者が適正な医療を受けられる地域連携体制づくりの構築をサポートします。大分県様だけではなく、地域の薬局様や連携医療機関等が加わることで、本事業終了後も被保険者様が身近に相談できる環境づくりを目指します。



**ご清聴ありがとうございました。  
そしてご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。**



J M D C